

# 教 育 研 究 業 績

2019年 5月 1日

氏 名 山内 志保

学 位 臨床心理(専門職)

研 究 分 野	研 究 内 容 の キ ー ワ ー ド	
感情に焦点を当てた統合的心理療法	感情、統合的心理療法、Emotion-focused therapy (感情焦点化療法：EFT) , Accelerated Experiential Dynamic Psychotherapy (加速化体験力動療法：AEDP) , 治療関係	
主要担当授業科目	《大学院》 心理療法特論 《学部》 心理学的支援法【心理療法2】	
教 育 上 の 能 力 に 関 す る 事 項		
事 項	年 月 日	概 要
1 教育方法の実践例		
1) 産業能率大学通信課程 講師 担当授業：アドラーの心理学	2015年4月 ～現在	岩井俊憲(2014)『勇気づけの心理学 増補・改訂版』(金子書房)をテキストとし、通信講座レポート問題の作成および添削・科目修得試験問題の作成および採点を行っている。
2) 神奈川大学 非常勤講師 担当授業：心理療法Ⅱ	2017年4月 ～9月	学部3年生を対象に、氏原 寛・成田善弘(1999)『臨床心理学① カウンセリングと精神療法 [心理治療]』(培風館)をテキストとし、臨床臨四肢という仕事の概要と倫理、各種心理療法における概説を、スライドやカウンセリングの解説ビデオ、デモンストレーション映像などを活用し、紹介した。
2 作成した教科書、教材		
1) レポート問題及び科目修得試験問題	2015年4月 ～現在	岩井俊憲(2014)『勇気づけの心理学 増補・改訂版』(金子書房)の内容より、アドラー心理学における要点や、日常に生かす勇気づけのスキル及び考え方について、問題を作成した。
2) 授業にて使用するレジュメ・レポート問題・期末試験問題	2017年4月 ～9月	全15回の授業における臨床心理士という仕事の概要と倫理、さらに各種心理療法の概説に関するレジュメを作成した。また、内容の理解度を確認するためのレポート問題及び期末試験問題を作成した。
3 教育上の能力に関する大学等の評価		
4 実務の経験を有する者についての特記事項		
5 その他		

職務上の実績に関する事項		
事項	年月日	概要
1 資格、免許		
1) 臨床心理士	2009年4月	臨床心理士資格認定協会が定める臨床心理士資格を取得。
2) Emotion-focused therapy level1 therapist	2017年5月	お茶の水女子大学にて開催された EFT の国際認定コース（講師：Ronda Goldman 先生）を修了。
3) Accelerated Experiential Dynamic psychotherapy level1 therapist	2017年5月	ニューヨークにて開催された AEDP Immersion course（講師：Diana Fosha 先生）を修了。
2 特許等		
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
1) 九州労災病院勤労者メンタルヘルスセンター非常勤相談員	2007年4月～ 2008年3月	総合病院における精神科内にて、初診のアナムネ・心理検査・心理療法・電話相談業務に従事した。
2) まつしまメンタルクリニック 臨床心理士	2008年4月～ 2014年3月	精神科クリニックにて、初診のアナムネ・心理検査・心理療法・集団精神療法などの業務に従事した。
3) 神奈川大学心理相談センター 教務補助員	2014年4月～ 2018年3月	大学の心理相談センターにて、電話申し込みの受付・インテーク面接とケースを担当した。また、SV や勉強会、授業補佐などを通して、臨床心理を学ぶ学生の学びにも関わった。
4) 東京成徳大学大学院 心理・教育相談センター 非常勤所員	2015年4月～ 2018年3月	大学の心理相談センターにて、インテーク面接とケースを担当した。また、勉強会や事例会議でのコメンテーターを通して、臨床心理を学ぶ学生の学びにも関わった。
4 その他		

著書、学術論文の名称	単著 共著 の別	発行又は発表 の年月	発行所、発表雑誌等又は 発表学会等の名称	概 要
(著書) 1) 入門！産業社会心理学 仕事も人間関係もうまくいく心理マネジメントの秘訣	共著	2015年	北樹出版	産業社会心理学の入門書。心理学の知識を仕事や対人関係のマネジメントに生かすための理論や方法の紹介。
(学術論文) 1) 統合的心理療法におけるセラピストの現前性と自己開示に関する一考察 (査読付き)	単著	2016年	心理臨床学研究第 34 巻第 1 号	Emotion-focused therapy と Accelerated Experiential Dynamic Psychotherapy という 2 つの統合的心理療法を取り入れた事例におけるセラピスト側のかかわりの変化に注目した事例報告である。
2) エモーション・フォーカスト・セラピーによるうつへのアプローチー恥の変容に注目して (査読なし)	単著	2015年	神奈川大学心理相談センター研究紀要心理相談研究第 6 号	Emotion-focused therapy のアプローチを用いて抑うつ改善がみられた事例の報告である。
3) 感情体験の象徴化による感情調整に関する一考察 (査読なし)	単著	2016年	神奈川大学心理相談センター研究紀要心理相談研究第 7 号	感情体験の象徴化が感情調整に寄与した 2 事例を取り上げ、感情体験の象徴化を促進するかかわりについて論じた。
4) 獣医師の職業性ストレスに関する KJ 法を用いた質的検討 (査読なし)	単著	2017年	神奈川大学心理相談センター研究紀要心理相談研究第 8 号	獣医師の職業性ストレスと仕事のやりがいについて KJ 法を用いた質的検討を行った。
5) 加速化体験力動療法の理論と介入がもたらす変容ー治療関係における感謝に注目して (査読付き)	単著	2018年	臨床心理学第 18 巻 5 号	治療関係でみられる感謝に対する理解と介入について加速化体験力動療法 (Accelerated Experiential Dynamic Psychotherapy : AEDP) の立場から論じた一事例研究である。